

電波時計 取扱説明書 (掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間で標準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 8RZ000

(フリーダイヤル)

お客様相談室 **0120-557-005**

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2010)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

● **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

● **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る**

- 傷をつけない。
- ショートさせない。
- 加熱しない。
- 分解しない。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。

● **梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息する恐れがあります。

● **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

● **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

● **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

● **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。

● **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。

● **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。

● **液晶から漏れた液に素手でさわらない**
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

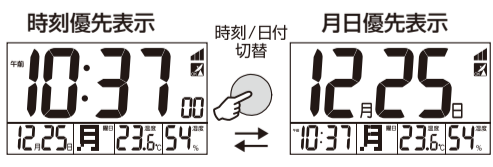
● **下記のような場所では使わない**
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

表示の切り替え

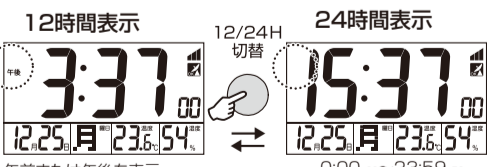
■時刻/日付優先表示切り替え

時刻日付切替を押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。



■12/24時間表示の切り替え

12/24H切替を押すと時刻の表示形式が切り替わります。



●電波を受信しているときや手動で日時を設定しているときは、表示を切り替えることはできません。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 様
ご住所
TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

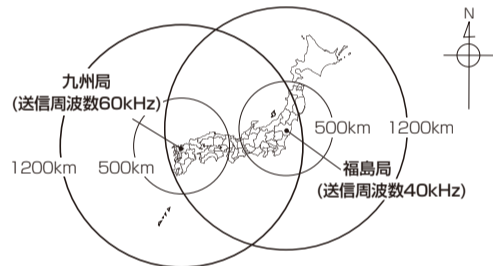
クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijiy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 電波障害の起きる所
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 家電製品やOA機器の近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- スチール机等の金属製家具の上や近く

おもな製品仕様

表示方式	LCD(液晶)	
使用温度範囲	-10~50℃ (液晶表示可読温度範囲 0~40℃) ^(※1) *結露しないこと	
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒	
	標準電波を受信しないとき 平均月差±30秒 (温度が5~35℃のときのクオーツ精度)	
電源	リチウムボタン電池 CR2477 2個	ソーラー発電 薄膜太陽電池
電池寿命	ソーラー発電と併用 6年 ^(※2) 以上、電池単体で約5年	
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正	カレンダー表示 2008~2099年まで対応
受信局	福島局/九州局自動選択	温度表示範囲 -9.9~50℃
受信回数	2~3回/日	温度精度 ±2℃
受信開始時刻	午前2:16:40と午後2:16:40、受信できないときは午前3:16:40にも行う	湿度表示範囲 20~95%RH 温度が5~50℃のとき %RHは相対湿度を表す。
サーチ機能	電波の強弱表示	湿度精度 ±10%RH
受信ON/OFF	スライドスイッチにて切替可能	防滴防塵機能 なし

- ソーラーセルは室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。
- 液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。
- (注1) 液晶表示は0℃以下では薄くなったり、消えることがあります。40℃を超えると黒くなる場合があります。温度が0~40℃になれば、元の状態に戻ります。
- (注2) ソーラー発電を1日に200ルクスで8時間行なったとき。
- ※付属の電池は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱していますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
- ※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

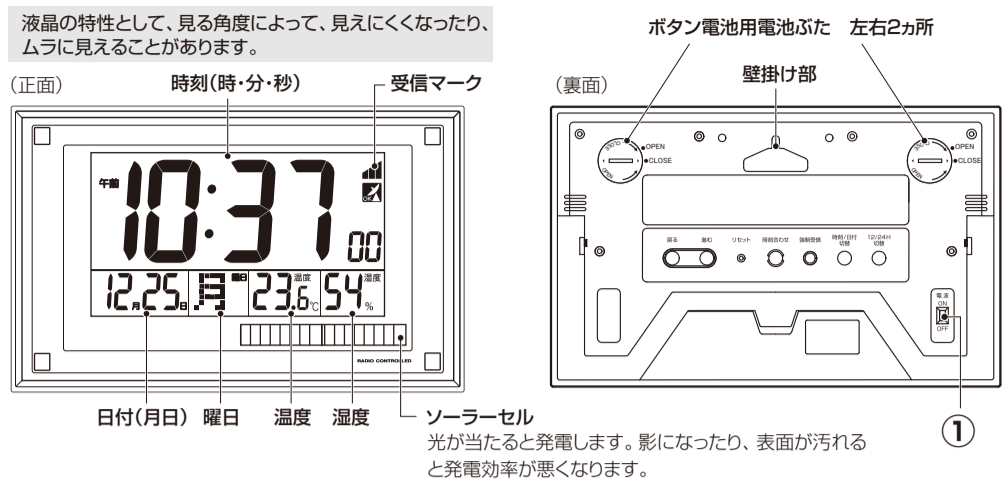
付属品 リチウム電池 CR2477(お試し用) 2個、木ねじ 1個、取扱説明書・保証書 本書

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

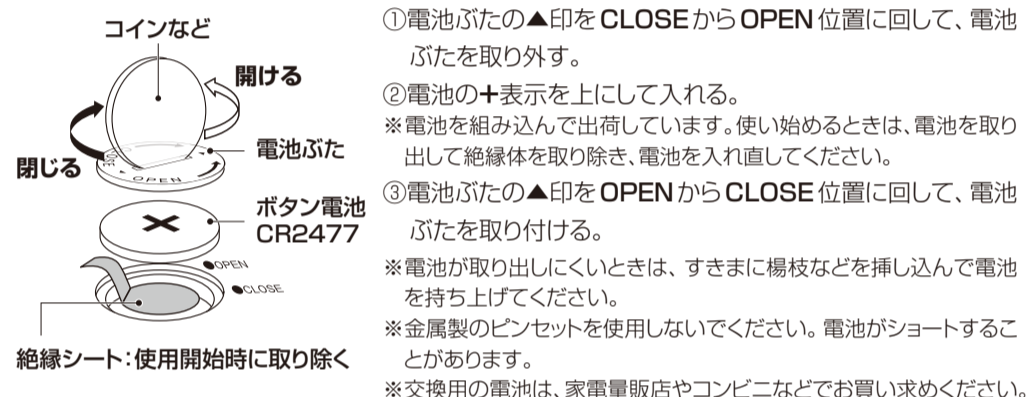
【参考】
照度 環境の目安
150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング内・オフィス
700ルクス 明るいオフィス

◎寝室や窓のないところでは十分な明るさや受光時間が不足することがあります。



- ①電波スイッチ — ON:標準電波を受信する OFF:標準電波を受信しない
- ②戻る — 手で日時を合わせるときに使用します。
- ③進む — 操作 押してすぐ離す 押し続ける
戻る 数値を1つ戻す 早戻し
進む 数値を1つ進める 早送り
- ④リセット — 電池を入れた直後に押します。2008年1月1日、午前12:00にセットされます。
- ⑤時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用します。
- ⑥強制受信 — 押すと受信を開始します。
- ⑦時刻/日付切替 — 時刻と日付の表示位置を入れ替えます。
- ⑧12/24H切替 — 時刻の表示を12時間と24時間表示を切り替えます。12時間表示のときは午前または午後を表示します。

ボタン電池の入れかた



危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

小さなお子様の手の届く所に置かない
ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

電源について……………ソーラー発電とボタン電池

この時計は明るいところではソーラー発電で、暗いところではボタン電池で駆動します。ソーラー発電とボタン電池を併用することにより、電池寿命を6年以上[※]と長寿命化を図っています。

(注) 1日に200ルクスの明るさで約8時間ソーラー発電する必要があります。

- ソーラー発電しても、ボタン電池への充電は行ないません。
- ソーラー発電のみでは動きません。必ずボタン電池を入れて使用してください。
- ソーラーセルに直射日光を当てるとソーラーセルが劣化し、発電効率が低下します。
- 表示が薄くなったり、暗いところで停止するときはボタン電池の交換が必要です。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

設置について

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け部以外のところに掛けないでください。

置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

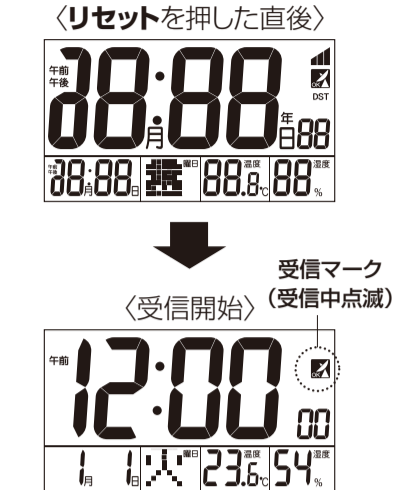
- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

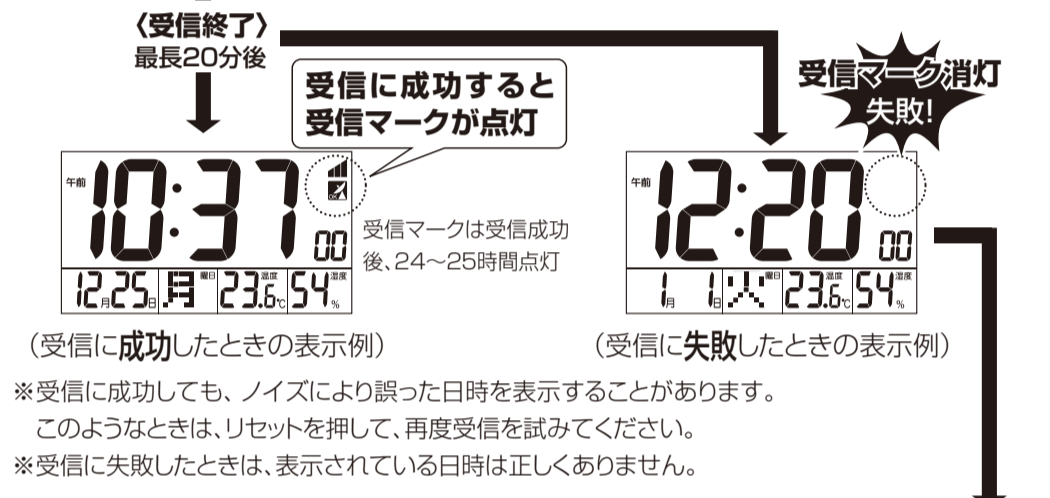
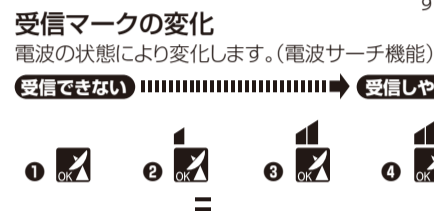
標準電波を利用しないで、手で日時を合わせるときには **【手動での時刻合わせ】** をお読みください。

- ◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
- ◎電池の入れ方については、裏面 **【ボタン電池の入れかた】** をご参照ください。
- ※電池を組み込んで出荷しています。使い始めるときは、電池を取り出して絶縁体を取り除き、電池を入れ直してください。

【受信の流れと表示】



電池投入直後およびリセットを押した直後は、2008年1月1日、午前12:00に設定されます。



標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ …… 電波を受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分)でのボタン操作 操作例 2017年12月25日 午前10:37に合わせる

点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます。

- ①西暦年が点滅するまで**時刻合わせ**を約2秒間押し続ける
- ②年を合わせる
- ③月を合わせる
- ④日を合わせる
- ⑤時を合わせる
- ⑥分を合わせる

分のときに、**進む**または**戻る**を押すと秒が00になる。

以上で設定が終わりました。

電波受信機能のON/OFF切り替え

電波スイッチをONにすると、定期的受信を行い受信に成功すると日時を自動修正します。OFFにすると受信を行いませんので、日時の遅れ進みは手動で修正してください。

強制受信とリセット

強制受信は、場所を移動したときなどにすぐに受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても継続して日時を表示します。強制受信は、手動で時刻合わせをしているときは機能しません。

リセットは、電池を入れた直後やボタン電池を交換した直後などに押します。リセットを押すと2008年1月1日午前12:00にセットして、受信を開始します。

- 電波スイッチ**がOFFのときは、**強制受信**または**リセット**を押しても受信を開始しません。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押してください。

温度と湿度の表示

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 測定する高さによって温湿度に違いが出ることがあります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。
- ※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示

温度	「HH.H」50℃を超える高温	湿度	「HH」95%を超える多湿
	「LLL」-9.9℃未満の低温		「LL」20%未満
			「-」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)